

下水道料金

平成21年6月以降
請求分から

変わります

水道料金

新しい水道料金算定表(1か月当たり。消費税抜き)

口径	基本料金	基本水量	給水料金(1㎡当たり)
13mm	1,200円	10㎡	10㎡を超えた水量の料金単価 ●1~50㎡以下—130円 ●51㎡以上—143円
20mm	1,250円		
25mm	1,290円		
40mm	2,360円	0㎡	●1~50㎡以下—130円 ●51㎡以上—143円
50mm	3,300円		
75mm	4,400円		
100mm	5,520円		
150mm	6,640円		

※昭和・日羽・作原・種井簡易水道の水道料金は、従来どおりです。

例 13mmの口径で、1か月25㎡使用したら
 $[1,200円 + (25 - 10㎡) \times 130円] \times 1.05$ (消費税) = 3,307円
 (1円未満は切り捨て)

下水道使用料

新しい下水道使用料算定表(1か月当たり。消費税抜き)

基本水量	基本料金	超過料金(1㎡当たり)	
10㎡まで	1,040円	10㎡を超え50㎡まで	155円
		51㎡以上	190円

※総社の農業集落排水処理施設使用料は、従来どおりです。

※水道水以外の水を使用している場合の使用水量の算定

- 水道水以外の水だけ使用している場合
人数×5㎡/月
- 水道水と水道水以外の水の併用している場合
人数×3㎡/月と上水道の使用水量の合計

例 1か月25㎡使用したら
 $[1,040円 + (25 - 10㎡) \times 155円] \times 1.05$ (消費税) = 3,530円
 (10円未満は切り捨て)

平成21年6月以降の請求分から、水道料金と下水道使用料を改定することが、12月定例市議会で決まりました。今回の改定は、料金体系や料金を統一するもので、合併協定書に基づいて行われたものです。いずれも、平成21年4月以降の水道の使用量によって算定されます。

水道料金の統一と平均18%値上げ
 清音地区の水道料金を、他地区の現行の水道料金に統一。また、安定した給水や施設整備など、費用に見合った収入の確保のため、平均18%の値上げとなりました。

下水道の使用料を統一

下水道使用料は、山手と清音地区の公共下水道使用料と農業集落排水処理施設使用料を、現行の総社・美袋地区の公共下水道使用料に統一しました。

問い合わせ ▼水道 上水道課業務係 (☎08326) ▼下水道 下水道課下
 水道係 (☎08322)

クローズアップ 市政

議会

体育施設の指定管理者決まる

問い合わせ 総務課行政係 (☎08218)

市スポーツセンターなど5施設—株式会社山陽レイスポーツ
 清音ふるさとふれあい広場など2施設—NPO法人きよね夢てらす

12月定例市議会は、12月1日から16日までの16日間の会期で開かれました。この議会では、一般会計の補正予算をはじめ、条例の一部改正、人権擁護委員の候補者の推薦など計21件の議案が、原案どおり可決、推薦に同意されました。

市スポーツセンターや清音ふるさとふれあい広場など7つの体育施設と、サンロード吉備路の指定管理者が決定しました。

市スポーツセンターや総社北公園陸上競技場、武道館、山手スポーツ広場、高梁川河川敷グラウンドの5施設の指定管理者が、株式会社山陽レイスポーツ(岡山市)に、清音ふるさとふれあい広場と清音河川敷グラウンドは、NPO法人きよね夢てらすに、それぞれ決まりました。

市スポーツセンターや総社北公園陸上競技場、武道館、山手スポーツ広場、高梁川河川敷グラウンドの5施設には4社、清音ふるさとふれあい広場と清音河川敷グラウンドの2施設には2社からの応募があった

指定期間は、いずれも4月1日から3年間です。
 サンロード吉備路の指定管理者は引き続き、株式会社休暇村サービス(東京都台東区)。4月1日から5年間の指定です。
 条例の一部改正では、公共下水道などの使用料体系の統一や、水道料金の改正が決まりました。「詳しくは、右ページに掲載」

一般会計の補正予算は、1億5800万円が追加され、一般会計の総額は、250億6300万円。主なものは、南溝手地内の道路改良に2000万円、障がい福祉サービスの給付費の増額に3500万円です。
 人権擁護委員の候補者として、池上皓二さん(井手)、林佐和子さん(西阿曾)、下山幸子さん(富原)の3人を推薦することに同意されました。



引き続き株式会社休暇村サービスに指定管理者が決まったサンロード吉備路(写真上)。きびじアリーナや野球場、多目的広場などをもつ市スポーツセンターの空撮(写真下)。体育施設の指定管理者は昨秋、2つに分けて公募。市スポーツセンターや総社北公園陸上競技場、武道館、山手スポーツ広場、高梁川河川敷グラウンドの5施設には4社、清音ふるさとふれあい広場と清音河川敷グラウンドの2施設には2社からの応募があった